

深小っ子《一月》暗唱チャレンジ

令和四年初めの暗唱は、漢詩に挑戦です。漢詩は、中国の伝統的な詩です。日本でも八世紀からよまれたそうです。
聞き慣れない言葉がたくさん出てきますが、深小っ子のみなさんなら大丈夫。何回も繰り返し読んでいけば覚えられます。がんばってください。

偶成

作者不詳 以前は、朱熹作と言われていました

少年老い易く 学成り難し

一寸の光陰 軽んずべからず

未だ覚めず 池塘 春草の夢

階前の 梧葉 已に秋風



【意味】若者はあっという間に年をとってしまい、学問はなかなか思うように進まない。だから、少しの間でも決してむだにしない。一生懸命勉強しなければならぬ。池の堤の若草の上でまどろんだ春の日の夢が覚めないうちに、階前の前の青桐の葉には、もう秋風の音が聞かれるように、月日は速やかに過ぎ去ってしまうものである。